

# 東京経済大学報

2021 年度 第 54 巻 4 月臨時号



2021 年度 大学役職者から新入生へのメッセージ

2021 年度 新任教職員紹介

東経大の対面授業とオンライン授業

学生記者が行く！先生インタビュー

東経大で出会った「生涯の師」への手紙

イマドキの TKU 生



# 2021年度

## 新入生の皆さんへ

今年度は総勢1,660名の新生編入学・大学・大学院等を含むを迎えました。



学長 岡本 英男 (おかもと ひでお)

東京経済大学に入学された皆さん、おめでとうございます。

皆さんが大学に入り、大学の勉強を進めていくにつれて、実りある成果を収めるうえで、何よりも先生方との人間的接触、そして学生同士の触れ合いが大事であることを実感すると思います。

私たちは昨年度、コロナ禍というやむを得ない状況下で、オンラインでの学習の可能性を学びました。私自身週一回開催している学長ゼミもズームで行い、今や画面越しに白熱した議論も展開できるようになりました。しかし、画面越しで見える顔と声だけでは何か重要なものが欠けていて、相互のやりとりがまだ局所的なものにとどまっているように感じるのも事実です。

コロナ禍はいつ終息するかわかりません。しかし、大学での勉強は人間的接触のなかで大いに進むのだということは理解し、心の準備をしておいてください。私は、人間的接触を促進するうえで鍵となるのはゼミナール制度だと考えています。

本学では、一年生全員が受講することになっている入門ゼミを除いて、現在約一五〇のゼミが活動中です。私は、ゼミこそ教員と学生の語らいと切磋琢磨の場であると考えています。皆さんはゼミのなかで自発的に、そして能動的に学ぶ力を身につけていくことができます。ひとりの尊敬する教師との個人的な接触・交流を通じて、そしてゼミ生同士の対話を通じて、生涯自分の心の糧となる何かを学んでいくのです。

もう一つ大学における皆さんの人間的成長を大いに促進するものとして課外活動があります。仲間と共に興味ある分野に打ち込める文化系サークルや、心身を鍛え忍耐力と責任感を養う体育会系クラブに積極的に参加してください。そして、そのなかで、一生付き合えるような親友をつくっていただきたいと思います。親友というのは、たんに遊びのうえだけの友だちではなく、心の触れ合いのある、互いに自分の心が豊かになる、そういう関係です。

このような人間に成長するための第一歩は大学での学びであり、とりわけゼミや課外活動のなかでの教師との、そして学生同士の人間的交わりなのです。この「対話を中心とした交わり」のなかで、初めて皆さんは「他のあらゆる人の立場で思考しうる視野の広い思考様式」を身につけていくと同時に、「一人ひとりのしっかりとした意見をもつ人格」へと成長していけるのです。

新入生の皆さん、今日から皆さんは「自由の学府」東京経済大学の一員です。先輩たちの足跡と苦難の時代をたえず想起しながら、大いに学び、大いに交流を深め、長い伝統を誇る本学をさらに一歩前進させる事業に共に取り組んでまいりましょう。

(2021年度入学式学長式辞より抜粋。全文は本学Webサイトに掲載しています。)

## 大学役職者から新入生へのメッセージ

副学長



竹内 秀一 (たけうち ひでかず)

4年間=1,461日=35,064時間。「時は金なり」ですので、この時間を有効に活用してください。大学での4年間は長いようで短く感じられると思います。

充実した4年間となることを祈念いたします。

副学長



岸 志津江 (きし しずえ)

コロナ禍での受験を経験した皆さん、苦しさの中で鍛えた心の強さとやさしさを糧に、この大学で一回り大きく成長してください。自分とは違う、ものの見方に触れ、自信をもってオンリーワンの存在になりましょう。



経済学部長

井上 裕行 (いのうえ ひろゆき)

学びを通じ充実した大学生活となることを願っています。部活、サークルなどで友達とのネットワークをつくり、自分の世界を広げていって下さい。ゼミにも参加して、先生と友達と一緒に学ぶ楽しさを実感して下さい。



経営学部長

吉田 靖 (よしだ やすし)

ヒト、モノ、カネ、情報、時間、リスクとリターン。経営学のキーワードは人生そのものです。不確実な未来に向かうこの瞬間を一人ひとりが生きています。挫けそうになろうとも、何かを見つけ、何かを創り、輝いて欲しい。



コミュニケーション学部長

山田 晴通 (やまだ はるみち)

コロナ禍のなかでニューノーマル、新しい生活が求められる今こそ、人と人を結びつけるコミュニケーションについて私たちは生々しく考え直す必要に迫られています。生きること、学ぶこと、考えることを大切にしましょう。



現代法学部長

藤原 修 (ふじわら おさむ)

大学(university)は、1つの宇宙(universe)といってもよい、この世のあらゆることを学ぶことができる面白いところです。この機会を逃さず世界を知り自分を知り、きっとあなたを待っている人のために勉学に励んでください。



全学共通教育センター長

関 昭典 (せき あきのり)

一度きりの大学生活です。皆さん自身のこれまでの常識を覆すような豪快な大学生活を送ってほしいです。失敗を恐れずやりたいことに思い切りチャレンジしてみてください。きっと新たな自分を見出せるはず。応援しています！



図書館長

米山 高生 (よねやま たかう)

友との語らい、師との交わり、そして本との出会い。これぞまさに大学生活の三つの宝物。読書をとおり師や友と対話する習慣が「考え抜くためのパワー」を生むのです。図書館は「知のタイムマシン」。ようこそ、図書館へ！

# 2021年度 新任教職員紹介

★主な担当科目(教員のみ) ◆趣味・特技 ■東経大での抱負 ※敬称略

## 経済学部



准教授

佐藤 一光  
(さとう かずあき)

★財政学  
◆ゲーム、囲碁、自転車  
■最先端の研究をしたい。学生とたくさんふれあい、学びあい、教えあいたい。

## 経済学部



専任講師

姜 哲敏  
(カン チョルミン)

★計量経済学、経済データ分析  
◆映画鑑賞、プログラミング  
■研究活動を通じて社会に貢献しながら、学生にはデータサイエンスに関する知識や技能等、実用的な教育サービスを提供いたします。

## 経営学部



専任講師

井上 慶太  
(いのうえ けいた)

★管理会計論、簿記・会計入門  
◆マンドリン演奏、スポーツ観戦  
■学生の皆さんが東経大で仲間とともに充実した学生生活を過ごせるように教員として精一杯サポートしてまいります。これからどうぞよろしくお願いいたします。

## 経営学部



客員教授

小野寺 敬  
(おのでら たかし)

★標準経済学、データサイエンス入門  
◆ジム通い、卓球  
■経済データベースの開発やシンクタンクでの経済分析の経験を生かし、経済学や統計学などの理論と現実の経済社会を橋渡しするような授業——それがミッションであると考えています。

## コミュニケーション学部



客員教授

稲垣 太郎  
(いながき たらう)

★日本語ワークショップ、表現と批評 他  
◆読書、音楽、文芸収集、ゴルフ  
■メディア研究の総本山として学び見た本学部で教えることができるのは望外の幸です。記者、編集者、メディア研究者の経験を生かし、わかりやすく面白い講義の実現に向けて尽力いたします。

## コミュニケーション学部



特任講師

Flanagan Bruce  
(フラナガン ブルース)

★翻訳・通訳法、パブリック・スピーキング 他  
◆登山、剣道、空手道、ランニング  
■専門分野は通訳通訳論です。学会や国際スポーツ大会の通訳・実況をしています。オーストラリア出身で母国の事情や文化に関する講演会も行っています。東経大では通訳通訳論の教育と研究を一生懸命努めて参ります。

## コミュニケーション学部



特任講師

Van Lommel, Pieter  
(ヴァン・ロメル ピーテル)

★Topics in English 他  
◆読書、創作、語学、音楽  
■文法や語彙の学習に留まらず、言語能力を活かして多様な資料を扱い、講義や議論、意見交換を通して、人間と社会について多面的な考察を行い、理解を深めることを試みたいと思う。

## コミュニケーション学部



特命講師

高見 由満子  
(たかみ ゆみこ)

★グローバルインターンシップ、キャリアデザイン発展  
◆テニス、温泉めぐり、歌舞伎  
■グローバルな企業経験と研究におけるキャリアデザインの知見、両面の視点から昨今の学生の社会への移行という課題に着目して、大学教育を考えていきます。学生の皆さんが成長を実感できることを目指して。

## コミュニケーション学部



特命講師

田村 寿浩  
(たむら としひろ)

★社会分析ワークショップ、キャリアデザイン・ワークショップ 他  
◆ハワイ島巡り、瞑想、ダイビング  
■29年の企業(広告会社)経験を経て、この度着任いたします。実業の中で統合してきた自分の考えを、新しいフィールドに合うようにマージしながら、学生のみさんと新しい知と体験を生み出していきたいと思ひます。

## 現代法学部



教授

上机 美穂  
(かみつくえ みほ)

★民法(不法行為法)、消費者問題と法  
◆旅行、サッカー観戦  
■学生さんと共に考え、学び、高め合っていきたいと思ひます。決して若くない(気だけは若い)新人ですが、宜しくお願いします。

## 現代法学部



専任講師

野澤 淳史  
(のざわ あつし)

★現代社会論、都市環境論  
◆北海道旅行  
■専門は環境社会学と障害学です。大学と現場を往復しながら考え続ける研究・教育活動を実践していきたいと考えています。

## 現代法学部



客員教授

川崎 泰史  
(かわさき ひろふみ)

★公共政策論  
◆ウォーキング、サイクリング  
■30年余り国家公務員として働いた経験を踏まえて、具体的な事例をまじえたわかりやすい授業をできればと考えていますので、よろしく願ひします。

## 全学共通教育センター



教授

鈴木 康弘  
(すずき やすひろ)

★トレーニング理論実習、健康の科学  
◆水泳(バタフライ)  
■学生達にスポーツの面白さ、技術上達の楽しさ、健康の大切さなどの気付きを与えるような授業展開をしたいです。

## 全学共通教育センター



教授

李 孝徳  
(り たかのり)

★芸術学、外国文学  
◆ジョギング、映画鑑賞  
■現代世界におけるダイバーシティとエンパシーの重要性を知ってもらえればと思ひます。

## 全学共通教育センター



准教授

寺島 瞳  
(てらしま ひとみ)

★心理学 他  
◆ヨガ、散歩、ロードバイク  
■世の中には正解がないことも多く、人々が持っている価値観も一つではありません。心理学をもとに、学生のみなさんが多様な価値観を身に着けることができるような授業を行っていきたくて思ひます。

## 全学共通教育センター



客員教授

大滝 修  
(おおたき おさむ)

★総合教育ワークショップ、教養ゼミ、生徒指導論、教育実習  
◆旅と手作り新聞、読書、ロック  
■社会の課題解決に若者が参画する「地球市民教育」を実践する大滝修と申します。授業を通じ、「学ぶよろこび」と「子どもの輝き」を引き出す教育を探究する東経大生の伴走(コーチング)に努めます。

## 全学共通教育センター



特任講師

小林 ゆみ  
(こばやし ゆみ)

★英語コミュニケーション、総合英語セミナー 他  
◆旅、ドライブ、ピアノ  
■英語が出来る、世界が身近に感じられると思うので、少しでも楽しい授業になるよう心がけてます。米、英、豪、新での経験があるので、留学などに関心がある方は、気軽にお声がけ頂けたら嬉しいです。

## 専任職員



◆オーボエ演奏、園芸、料理  
■学生の皆さんにとって東経大での学びが充実したものとなるよう、何事にも全力で取り組みます。そして、東経大に関わる方々全員のようにサポート役となれるよう邁進してまいります。



◆映画鑑賞、散歩  
■「進一層」「責任と信用」を大切に、広い視野と長期的な視点を持ち合わせた職員を目指して真摯に日々の業務に取り組んでいきたいと思ひます。



◆写真  
■進一層の精神を身近に感じながら学生が「安全に前向きな姿勢で学べる大学」であり続けられるよう、業務に精励したいと思ひます。また、丁寧に仕事と向き合い、頼れる職員になれるよう頑張ります。



◆ボーリング、野球観戦  
■私は誰かの人生に少しでも影響を与えられるような職員を目指したいと思ひます。東経大の学生のみなさんと共に学ぶ姿勢を忘れずに「進一層」努力していきたいと思ひます。

## 校務職員



◆家庭菜園、サーフィン  
■学生、教職員の皆様が東経大でのより良い日々を過ごせるよう、校務職の業務を通じて懸命に励みたいと思ひます。宜しくお願い致します。



◆温泉地巡り、バドミントン、卓球  
■自分自身が子どもの頃から慣れ親しんだ国分寺にある東京経済大学で勤務することができ、嬉しい思ひます。皆さんから信頼されるように一つ一つ頑張っていきたいと思ひます。



# 東経大の 対面授業とオンライン授業



～ 2020 年度の振り返りと、2021 年度の授業について～

2020 年度は新型コロナウイルスの影響で、東経大創立以来初のオンライン授業を実施しました。

2021 年度は原則として対面授業を行います。一部の授業についてはオンライン（遠隔）授業を実施します。

シラバスや授業支援システム manaba、TKU ポータル等で大学からの案内をよく確認し、授業に臨んでください。

## 2021 年 度 授 業 の P O I N T

原則、対面授業。ただし、「3 密」が避けられないなど、感染対策上やむを得ない一部の授業については、遠隔授業を実施する。

### オンライン（遠隔）授業

#### ✓ 受講形式について理解する

**A 型：配信された講義資料に基づき学習するもの**

**B 型：録画授業の動画配信によるもの**

**C 型：リアルタイム配信によるもの**

どの形式で行われるかは授業によって異なります。複数の形式を組み合わせたり、回によって異なる形式となる場合もあるので注意してください。

#### ✓ PC、タブレット、Wi-Fi 環境等を整える

通信容量、料金に注意してください。

#### ✓ manaba（マナバ）の使い方に慣れる

オンライン授業は必ず TKU ポータルへログインし、授業支援システム manaba へのアクセスが必要です。科目ごとに、資料やレポート課題、小テスト等の情報を得ます。

#### ✓ 学内で遠隔授業（C 型）を受講する場合は、指定の自習室を利用する

情報システム課の Web サイトや、学内の案内を確認してください。

#### ✓ イヤホンまたはヘッドセットを各自準備する

学内で受講する際、イヤホン類の貸し出しはありません。パソコン等のスピーカー音声の利用は周囲に迷惑となるため NG です。

#### ✓ 情報の取扱いに注意する

Zoom 等による授業 URL やミーティング ID、パスワードを他人に知らせたり、授業の様子を許可なく撮影、録画したりしない。SNS などへのアップも厳禁です。

### 対面授業

#### ✓ 原則として対面のみの受講

2020 年度第 2 学期のような、授業教室からの中継は行いません。

#### ✓ 受講の際、学生証とマスクは必須

自宅を出る前に検温し、体調不良の場合は登校せず、オフィスアワーや manaba 等を通じて教員へ連絡してください。

#### ✓ 時間に余裕をもって登校

検温等で入構に時間がかかる場合があります。

#### ✓ 大学からのお知らせをこまめに確認

TKU ポータルや manaba で、随時発信しています。

#### ✓ 着席は指示に従う

座席番号の付いている席に座り、座席番号を記録してください。濃厚接触の調査等で必要となる場合があります。

#### ✓ 食事は大学が指定した場所・教室と時間でのみ可能

飛沫感染を発生させないよう、黙食を基本とします。

詳しくは、TKU ポータルで配信されている「2021 年度授業の受講について」を確認してください！



#### オンライン（遠隔）授業について

- ・コロナが収まるまでは全面的にオンラインで実施してほしい。
- ・わからない部分を何度も繰り返し学習できるので理解が深まった。
- ・対面授業の時よりも授業内容を理解することが困難と感じた。
- ・PC 操作に慣れておらず、困難が多かった。
- ・PC のスキルが向上した。
- ・目や体の疲労がひどかった。
- ・平常時でもオンライン授業を実施してほしい。
- ・移動の時間が無くなり、時間に余裕ができた。
- ・対面授業とのギャップは少ないと感じた。
- ・A 型授業に音声の説明を付けてほしい。C 型授業を多くしてほしい。
- ・A 型の授業は一方通行で、理解が困難であった。

#### 課題について

- ・課題にじっくり取り組むことで、理解を深めることができた。
- ・自分のペースで取り組むことができるのはよい。
- ・課題の量が多い。
- ・課題の提出期限が短い。次の授業に影響がある。
- ・課題が多く、自己学習、資格試験勉強、アルバイト、睡眠時間が削られる。
- ・課題について質問したり相談できる人がいない。
- ・理解が深まっていない間に課題に取り組まなければならない。
- ・提出した課題に対するフィードバックが欲しい。
- ・質問への回答が遅い。

#### 授業料、学費の減額を求めるなどの意見

- ・受講した授業の内容は、授業料に見合うものではない。
- ・大学の施設が利用できなかったため、学費を減額してほしい。

#### 対面授業について

- ・できるだけ早い時期に対面授業にしてほしい。
- ・少人数の科目だけでも対面授業を実施してほしい。
- ・オンライン、対面授業ともに利点があるが、ゼミなどは対面が望ましい。
- ・オンラインと対面授業の併用は通学費の負担があるため、どちらかに統一してほしい。

#### その他

- ・学生間の交流機会を作ってほしい。友達を作りたい。
- ・サークルの情報が欲しい。
- ・電車通学や、東京で生活することは不安である。
- ・大学の施設を自由に利用できず不便である。

## 2020 年度第 1 学期 遠隔授業アンケート結果

一部紹介

2020 年度第 1 学期の終盤、教員、学生の皆さんに遠隔授業アンケートを実施しました。  
学生の皆さんからは「感染のリスクを考えると、コロナが終息するまでは全面的にオンラインで実施してほしい」「できるだけ早く対面授業を再開してほしい」「課題の量が多い」「教員からは「通常の授業準備に加え、動画作成・ツールの活用など負担が大きい」「対面出席と Zoom 参加の学生に差が出ないようにするため苦労した」「課題や添削などを一人ひとりに丁寧に行ったことで、学生の理解が深まった」など、様々な意見が寄せられました。  
これらをふまえ、2020 年度第 2 学期は、「課題には量より質を求める」「教員から学生へのフィードバックは、速やかに確実に実施する」「システムを活用し、学生の課題疲れや教員の課題出題、採点疲れを減少させる」などの工夫を凝らし、授業運営に努めました。



## Report 対面授業

- POINT**
- ① 少人数の授業では意見交換の場も
  - ② 予習やメモは重要
  - ③ 特定の曜日に授業を詰め込みすぎない
  - ④ 大教室は席が自由！席選びも大切

対面授業で良かったことは、特に少人数授業で、直接意見交換ができることです。例えば、先生が提示した問題の解決策について、学生がペアとなって意見交換する機会があり、授業への理解度も高まりました。

対面授業では、板書されない内容でも、先生が口頭で述べたことが試験に出題されることもあります。重要と思われる発言などは、メモしておくことが大切です。また授業前は、テキストや資料にざっと目を通しておくだけでも、気持ちに余裕ができます。

1年次の第1学期に失敗したことは、特定の曜日に講義科目を詰め込みすぎたことです。限られた時間内の教室移動と頭の切り替えが大変でした。また個人差はあると思いますが、大教室では、席によって先生の反応が分かりづらい、空調の関係で体温調節が難しい、という場合もあります。



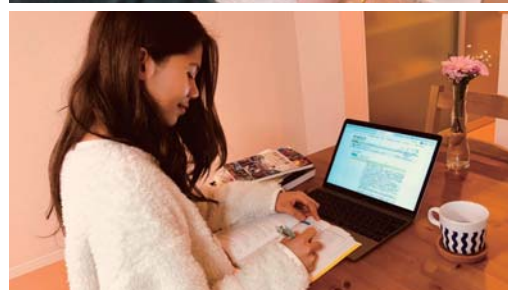
## Report オンライン授業

- POINT**
- ① 受講形式を理解
  - ② PC 疲れ対策の適度な休憩
  - ③ manaba の質問機能を活用
  - ④ システムやPC の機能を使って効率良く学習

オンライン授業は、A型、B型、C型など複数の形式があります(P4参照)。まずは授業がどの形式で実施されるのかを把握する必要があります。オンライン授業は対面授業と異なりパソコンの画面を長時間見ることになるので、目や首の局所疲労が辛かったです。自分なりの解決策として、遠くを見たり、椅子から立ち上がったりと、適度に休憩を取ることも大切だと感じました。

また、「オンラインでも先生との双方向のやりとりをしたい」という思いから、意識的にmanabaの機能を活用しました。その結果、第2学期が終わる頃には対面の時よりも質問を多くするようになりました。

オンライン授業のメリットは、例えば録画配信型の授業(B型)は、動画の一時停止・速度変更などの機能を使って効率良く学習できることです。またリアルタイム配信授業(C型)では、カメラをONにした方が先生や他の学生ともコミュニケーションを取りやすく、離れていても一体感を感じました。



## 新型コロナウイルス感染拡大防止徹底のお願い

東京経済大学では、新型コロナウイルスの感染防止のため、皆さんに十分な感染症対策に努めていただくようご理解、ご協力をお願いしています。



行動履歴の記録



検温、手洗い、アルコール消毒、うがいの徹底



マスクの着用



大声での会話を控える



不要不急の外出、特に20時以降の外出の自粛

学生の皆さんが安心して  
大学生生活を送れるよう  
ご協力よろしくおねがいします。



### 新型コロナウイルス感染症と診断された場合

新型コロナウイルス感染症と診断された場合は（濃厚接触者や濃厚接触者と接触した場合も含みます）、保健所の指示に従うとともに、速やかに平日は大学の医務室へ、医務室閉室時間は守衛所へ電話連絡をしてください。

東京経済大学医務室：

☎042-328-7760（平日9:00-17:00）

東京経済大学守衛所：

☎042-328-7711（医務室閉室時間）

取材：  
コミュニケーション学部 4年 植田 啓太（左）  
経営学部 2年 内田 充俊（右）  
※学年は2021年2月時点

### Q1 先生の研究・関心のある分野について教えてください。

一言でいえば「システム」です。それは機械やプログラムであったり、ひとつのジャンルだったり、SNSのようなサービスやワークショップなどのシステムが、どのように人間の創造性を沸き立たせるかという事に関心があります。そういったシステムを実際に作り、どのようなことが起こるのかという実験的な試みをこれまで行ってきました。

### Q2 システムに興味を持ったきっかけを教えてください。

大学生のころマイクロコンピュータが現れ、「もしかすると人間の創造性もプログラムされた計算過程なのではないか」というイメージをもちました。コンピュータを使い音楽やグラフィックなどを創る中で、周囲にクリエイターが集まり、CG作品をネットワークを通じ複数人で連句のようにやり取りし、新しい作品を作り出す「連画」という取り組みを1990年頃よりはじめました。これも、システムの創発性という問題意識がきっかけになっています。

### Q3 コロナ禍は授業の実施にどのような影響を与えましたか。

Zoomやチャットに加え、VRを活用し授業を展開しましたが、これまで重視してきた学生同士のコミュニケーションがスムーズにとれるよう授業内容を変更するなど、苦労した面も多くありました。世界の前提がまるごと変わってしまうという状況で、オンライン化が進み様々な効率化が進んだり、オンラインとリアルを組み合わせた授業が自然と生まれたり、「虚」と「実」それぞれの良さを改めて感じることができました。この経験は今後きっと役立つので、そうした一面では良かったとも捉えることができますし、来年度も状況に応じて活かしていきたいと思います。

### Q4 先生の趣味を教えてください。

料理です。特に「未踏料理」。ゼロから創作したり、rememewiki(※)における料理の再現、つまり言葉の雰囲気から料理のイメージを思い浮かべ、それを現実世界の食材や調理器具、調理方法で再現したりしています。「料理をすることが楽しい」と思えるのは、自分自身の健康のパロメーターにもなっています。

※先生のワークショッププログラムのプロジェクト。あるかもしれない可能世界のことを記載した辞書・辞典のようなもの。

### Q5 最後に学生へメッセージをお願いします！

コミュニケーションを大切に、広い視野を持ち、多面的に物事を見てほしいと思っています。例えば、「良い作品」や「良い論文」を作りたい、書きたいと思うことがありますよね。「良い」という評価は評価している誰か、いわば評価集団があるわけですが、あくまでそれはその特定の評価集団のなかでの評価であるという事を常に意識してほしいと思っています。

また、私の授業では学生同士のかかわりを重視していて、学生の皆さんにはたくさんコミュニケーションをとって欲しいと思っています。私は「未踏領域」というものが、今一番大切なテーマであると考えています。一見すると単なる無駄話でも、それがきっかけとなり新しいアイデアを生み出すことにもつながると思います。



取材・撮影はオンラインで実施。  
撮影場所は、東京経済大学図書館を借景としたVR空間。  
<https://hubs.mozilla.com/YERVciF/libe-tku>  
2020年度の授業「メディア制作ワークショップ」の作品展は、このVR空間で実施。  
作品展の情報はこちら。<http://www.tokecom.sakura.ne.jp/exhibition2020/>



安齋 利洋 ANZAI Toshihiro  
(コミュニケーション学部客員教授)

システムアーティスト。創発的システムの知見を活かした作品制作やワークショップデザインを実践している。  
<http://renga.com/toshihiroanzai/>





# 東経大で出会った「生涯の師」への手紙

～大学は学生と教師の出会いの場～

自由の学府・東京経済大学で生涯の師と出会った学生に思いを綴っていただきました。  
先生からの返信も併せてご紹介します。



## 学生から先生へのメッセージ

なりしま ゆりな  
成島 優理奈  
経営学部 3年（※学年は2021年2月時点）



本藤先生との出会いで私の大学生活は大きく変わりました。大学で夢中になれることを探していた私は、本藤先生の「本気になれることを一緒に見つけたい人を求めています」という言葉で、このゼミに入りたいと思いました。本藤ゼミは、大手メーカーの営業企画や、マーケティング担当者のプロモーション企画などの任務をプランニングするゼミで、週1回の授業はもちろん、サブゼミ、ミーティングもあり学内屈指の多忙なゼミと言われています。その言葉通り、本藤ゼミに所属してからはゼミ中心の毎日となり、時間があつという間に過ぎるほど充実した生活へと変わりました。

ゼミ活動では、行き詰ってしまうことや悔しくて泣いてしまうことがあるほど苦しい思いをすることもありますが、しかし、そんな苦しい時を、ゼミ生という「仲間」とともに全力で乗り越えているからこそ得られる達成感があり、やりがいを感じています。先生はゼミ生と距離が近く、全力で向き合い、同じ目線で物事を考えてくれます。だからこそ本藤ゼミは先生とゼミ生全員が仲間であるのと感じました。私も先生のように仲間とともに何事にも全力で向き合う人になりたいと思います。残りの大学生活、そして卒業後も、生涯の師としても「仲間」としても、末永くよろしくお願いいたします！



手紙ありがとう。

本藤ゼミのカルチャーに染まっている成島さんだから伝わってくるものは多いね。成島さんはゼミ長として、いつも本藤ゼミをどう育てていくかを一緒に考えてくれて、とても助かった。と言うより楽しかった。仲間を育てゼミ。ゼミのキャッチフレーズも「30年先も仲間であられるゼミ」を掲げているけど、あれだけ一緒にいれば絆も太くなるね(笑)

本藤ゼミで習得していくものはスキルよりもマインド。仲間とともにミッションに立ち向かっていくマインド。ミッションにワクワクしながら臨むマインド。「仕事」は嫌々取り組むものじゃない。ワクワクしながらコミットするもの。そして、一人で立ち向かうものでもない。同志がいる。社会に出てからも必ず見つかる。上司もその他の同僚も取引先もバイトさんも、自分の周囲にどれだけ「仲間」をつくれるか、そしてゴールを共有できるか。仲間が増えた分だけ自分の可能性が広がっていくからね。

成島さんは、これから就職活動の本番を迎える。仕事に対するマインドは誰にも負けない。だから自信をもって臨んで欲しい。そして、ワクワクしながら就活を楽しんで欲しい。未来の自分に対しての期待を膨らませていけるのも就活の時だからね。



## 先生から学生へのメッセージ

ほんどう たかやす  
本藤 貴康  
経営学部 教授





## TOPICS 2020年度卒業式を対面分散方式とオンデマンドで開催

コロナ禍で開催が危ぶまれた2020年度卒業式は、感染症対策の観点から構内へは卒業生のみ立ち入り可能とし、2021年3月23日(火)に対面分散方式で行われました。

午前は経済学部と現代法学部、午後は経営学部とコミュニケーション学部の式典と学位記の授与を、100周年記念館または、大・中教室に分散して実施しました。式への参加を見送った卒業生をはじめ、在学生、卒業生関係者の皆さまにも式典の様子をご覧頂くために、当日13時からにはオンデマンドにて配信しました。式典では学長式辞、理事長祝辞、各学部・学科の総代への学位記授与、卒業生代表挨拶が行われました。岡本学長は式辞で、先輩研究者として敬愛してきた故今村仁司先生他2名の生き方を紹介し「どうか、それぞれの人生を積極的に生きてください」と、卒業生へ思いを込めたメッセージを贈りました。

卒業生のひとりからは、「今年度はゼミの授業時しか大学へ来られなかったが、卒業式という記念の日に、直接先生や友人と会って話し、写真を撮ることができ嬉しかった」と話していました。

2020年度に本学を卒業された1,593名(大学院を含む)の皆さんのご活躍をお祈りしています。

\*学長式辞をはじめとする動画

<https://www.tku.ac.jp/2021graduate.html>



\*卒業生の皆さんへのお祝いメッセージ

[https://www.tku.ac.jp/2021message\\_for\\_graduate/](https://www.tku.ac.jp/2021message_for_graduate/)



## TOPICS 2020年度入学生の「入学式」を開催

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い中止となった2020年度入学式が、1年遅れの2021年4月10日(土)に行われました。

当日は午前中に経済学部と現代法学部、午後に経営学部とコミュニケーション学部の入替制で式典、学部イベント、キャンパス見学会等を開催しました。式典には学生本人のみ参加としたため、ご家族・関係者の皆さまへはライブ配信を行い、式典の様子をご覧いただきました。

スマートフォンでQRコードを読み込むと起動する「TKU AR NAVI」を使った企画は、大学構内の各建物の中にある施設等を確認することができたり、本学の前身・大倉商業学校を創立した大倉喜八郎のバーチャル映像が表示されたりするもので、その機能を使い、楽しそうに学内を見学する学生の姿も見られました。

新2年次生からは「大学生になったという実感が湧いた」「オンライン授業で画面越しにやり取りはしていたが、実際に会うことができて嬉しかった」といった声が寄せられ、マスク越しに笑みがこぼれていました。



## TOPICS 東京経済大学 SDGs 宣言 — 121年目の新たな一歩

121年目を迎えた東京経済大学は、2021年4月1日(木)、「東京経済大学SDGs宣言」を行いました。

これまで大学理念に基づき、教育・研究活動のさまざまな面において、人権の保護・尊重、差別・偏見の解消や格差の是正、貧困・飢餓の克服や生活保障、地球規模の環境問題への対処、持続可能な生産と消費の実現などの課題への挑戦を後押しし、社会をより良い方向に変革して人々の幸福の実現に寄与していくことをめざしてきました。また、戦後、現在の国分寺の地で新制大学として再スタートして以来、地域社会への責任として、キャンパスに内包する豊かな「武蔵野の森」の自然を護り育みつづけてきました。

ここであらためて、本学が社会に対して果たすべき役割を再確認し、SDGsの掲げる目標等の意義が本学のすべての構成員に浸透するように努めます。

本学は、SDGsの実現に向けた教育・研究を一層強化していくとともに、地域社会や行政、産業界との連携により積極的な社会貢献を果たしていきます。これらの取り組みを通して、「責任と信用」がますます求められる時代に即して、高い倫理観を備えた人材の育成に尽力します。

東京経済大学SDGsページ：<https://www.tku.ac.jp/sdgs/index.html>

## イマドキのTKU生

### ～東経大での2021年度の抱負～



※2021年3月取材(学年は3月時点)

